

令和6年度

事業報告書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

1 地域スポーツ普及振興事業 (6,216 事業 136,574 人)

(1) 教室事業・交流大会 (6,123 事業 102,725 人)

ア スポーツ教室事業 (6,057 事業 90,658 人)

各施設において、技術の向上や健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるきっかけとなるプログラムを実施した。プール施設における水泳事業では教室自動継続化を行い、教室抽選による落選者を作らない仕組み作りを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、水泳教室として「チャレンジスイミング」、体操教室として「チャレンジジム」を実施した (5,969 事業 86,022 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそびい・ろ・は」などのスクール事業 (20 事業 210 人)、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」 (4 事業 40 人) を継続実施するとともに、「カーリング教室・体験会」「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (53 事業 4,179 人)、施設間合同事業として市内を 10 グループに分けて施設を横断的に利用する多種目体験型教室「DO! スポKIDS」、高齢者を対象とした健康に関する知識と実践力を身に付ける「DO スポ! シニア健康塾」 (11 事業 207 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

イ スポーツ大会、スポーツイベント事業 (66 事業 12,067 人)

各施設において、「スポーツの日無料開放」 (25 事業 7,921 人) をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるテニスやサッカーなどの多種多様なスポーツ大会、カーリングのウインタースポーツ大会、教室受講生を対象としたダンス発表会などのイベント事業 (32 事業 3,642 人) を開催した。

また、複数の管理施設合同の「泳力検定会」や「わくわくウインターフェスタ」 (9 事業 504 人) を開催した。

(2) 普及啓発事業 (62 事業 19,984 人)

ア ウインタースポーツ塾／受託事業 (2 事業 7 種目 1,268 人)

札幌市からの受託事業として、市内の小学生を対象にウインタースポーツ 7 種目 (アイスホッケー・フィギュアスケート・カーリング・スノーボード・スキージャンプ・クロスカンリースキー・ショートトラック) の体験会の企画・運営を担った。夏季 4 日間 (3 種目 438 人)、冬季 3 日間 (7 種目 830 人) 実施し、計 1,268 人が参加した。

イ さっぽろっ子スケートチャレンジ検定事業／受託事業 (1 事業 929 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象に 3 会場 (月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場) で全 29 回実施。929 人が参加し 1,181 枚の認定証が発行された。

ウ 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 2,041 人／中島公園 9,982 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

エ ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 1,187 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IVV) のイヤラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

オ スポーツキャラバン事業 (43 事業 905 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

- (ア) 出前講習会として、イベントや企業における体組成測定や体力測定会を実施（1事業 13人）
- (イ) 指導員派遣として、連合町内会などの講座へ指導員を派遣（4事業 892人）
- (ウ) ニュースポーツ用具のレンタルとして、イベントなどへの用具を貸出（38事業）

カ 小学校水泳授業／受託事業（7事業 3,375人）

札幌市からの受託事業として、西区体育館・温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、東温水プール、白石温水プールの5施設において水泳授業を実施した。伏見小学校(677人)、発寒南小学校(426人)、東橋小学校(291人)、東山小学校(497人)、元町北小学校(585人)、東光小学校（357人）、東札幌小学校（542人）。

キ Let'sやるスポ!中学生／受託事業（1事業 11種目 218人）（うち指定管理施設外：38人）

札幌市からの受託事業として、市内の中学生を対象に部活動の地域連携・地域移行に向けたモデル事業の企画・運営を担った。子どもたちのニーズに応じた多種多様なスポーツ体験の機会を創出することを目的に、従来の学校部活動にはないアーチェリー、ブレイキン、スポーツクライミングなど、計11種目の体験会を実施した。

ク いろスポ!クラブ in 東札幌小／受託事業（1事業 5種目 79人）

札幌市からの受託事業として、総合型地域スポーツクラブの育成を目指したモデル事業の企画・運営を担った。東札幌小学校の児童を対象として、放課後のスポーツ活動機会の提供を目的に、キンボール、かけっこなどの多種目体験型の体験会を実施した。

(3) 地域コミュニティ活性化事業（20事業 9,794人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し、指定管理施設では「手稲スポーツレクリエーション祭」「あつべつスポーツチャレンジ」（16事業 9,636人）、指定管理施設以外では「花いっぱいプロジェクト」（3事業 135人）において地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、水難事故防止を呼び掛けることを目的とした啓発事業「着衣泳体験会」（1事業 23人）を実施した。

(4) 障がい者スポーツの普及促進事業（11事業 4,071人）

ア 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市の障がい者スポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6月・11月・3月開催）。

イ 冬季障がい者スポーツ指導者養成・体験会運営事業（2事業 51人）

サッポロティネなどを会場とし、シットスキーのサポーターとバイスキーの指導者の養成やチェアスキーの理解促進のための研修会を実施するとともに、実践の機会として体験会を実施した。

ウ パラスポーツ体験イベント事業（2事業 930人）

(ア) 区体育館やプールなどの管理施設を会場とし、障がいのある方向けの体験会を15回実施した。

うち2回は北海道教育大学の学生と協力し、未就学児でも参加できるような運動遊具を用いた体験会「みんなのあそびば」を実施した。（1事業 577人）

(イ) 「雪にふれよう！わくわくウインターフェスタ冬季パラスポーツ体験会」として、月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアムにて、パラアイスホッケーとシットスキーの体験会を実施した。（1事業 353人）

エ パラスポーツ体験出張事業（7事業 3,090人）

(ア) 「札幌ウェルネスイベント」におけるボッチャ体験コーナー運営（5事業 2,250人）

(イ) 「さっぽろスポーツスノーフェスタ2025」におけるシットスキー体験コーナー運営（1事業 610人）

(ウ) 「ウインタースポーツフェスティバル」におけるシットスキー体験コーナー運営（1事業 230人）

2 スポーツ大会・イベントの開催及び誘致等（76 事業 39,054 人）

（1）札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの振興・普及・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的向上に資することを目的に実施した。

ア 第 65 回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開 催 日：5 月 23 日（木）

会 場：札幌サンプラザ コンサートホール

参加者数：177 人

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部補助を行った。

事 業 数：50 事業（50 競技）

※3 競技は未実施。

参加者数：19,187 人（うち指定管理施設外：1,826 人）

（2）第 47 回北海道を歩こう

真駒内から支笏湖までのサイクリングコースを歩く、ウオーキングのイベントを実施した。

開 催 日：5 月 19 日（日）

会 場：真駒内中学校～札幌芸術の森～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種 目：33 km、10 km、6km

参加者数：922 人

（3）リレーマラソン in 札幌ドーム 2024

1 周 2 km の札幌ドーム特設コースをチームで走る、リレーマラソンの大会を実施した。

開 催 日：7 月 15 日（月・祝）

会 場：札幌ドーム

種 目：42.195km リレーマラソン、10km リレーマラソン

参加者数：5,125 人

（4）第 49 回札幌マラソン

マイボトル・マイカップを使用した給水方法でマラソン大会を実施した。

開 催 日：10 月 6 日（日）

会 場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種 目：ハーフマラソン、10 km、ファンペア、車いす 5 km、だれでも 1 km ほか

参加者数：11,796 人

（5）第 45 回札幌国際スキーマラソン大会

クロスカントリースキーの普及振興を目的とした国際連盟「ワールドロペット」に国内で唯一加盟する大会で、今年度は少雪の影響により、コースを短縮し実施した。

開 催 日：2 月 2 日（日）

会 場：白旗山競技場及び周辺コース

種 目：スキーマラソン 50 km・25 km、歩くスキー 10 km・4 km

参加人数：767 人（国内 662 人、国外 105 人）

（6）スポーツ大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業（15 事業 1,080 人）

国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

ア 国際大会誘致・合宿受入支援事業（5 事業 85 人）

（ア）パルクールプレミアカップ 参加者数：20 人

（イ）FIS パラノルディックスキーアジアカップ札幌大会 参加者数：5 か国 35 人

(ウ) 3x3TOURNAMENT 参加者数：10 チーム 30 人

(エ) J リーグシーズン移行にかかるニーズなど調査の実施

(オ) 現行合宿受入自治体と J リーグチームへのヒアリング

イ スポーツツーリズム推進事業（4 事業 635 人）

(ア) ナイトクロカンin中島公園 参加者数：635 人

※以下(イ)～(エ)はさっぽろグローバルスポーツコミッションの加盟する「北海道スキープロモーション協議会」による実施

(イ) 海外スキー博「Ski Dazzle Winter Expo」（ロサンゼルス）への出展

(ウ) 道内スキー場への海外メディア招請による情報発信事業

(エ) 「Powder Snow Hokkaido」への記事掲載

ウ マラソンツーリズム推進事業（3 事業 299 人）

(ア) 街 RUN 中島公園 利用者数：239 人

(イ) 韓国大田広域市とのマラソン交流 参加人数：19 人（受入・派遣合計）

(ウ) 台湾高雄富邦マラソンとの交流 参加人数：41 人（受入・派遣合計）

エ スノーリゾート事業（3 事業 61 人）

※定山渓を中心としたスキーベースタウン構築による周遊型スキー観光促進事業

(ア) モニターツアーの実施 参加者数：49 人

(イ) 海外旅行博（台北・上海）におけるブース出展

(ウ) 海外エージェント招聘及び定山渓ホテルへの説明会 参加者数：12 人

(7) スポーツボランティアの啓発普及事業

ア スポーツボランティア登録状況・広報

スマイルサポーターズ登録管理、登録者数の増加に向けた PR、会報誌「With Smile」の発行、市内大学での講演による若年層の裾野の拡大

イ スポーツボランティア派遣・研修会

大会・イベントへの派遣、研修会の実施、小学校スキー学習支援事業

(8) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 北海道マラソン 2024 8 月 25 日（日）

イ チャレンジ！スポーツパーク 1 月 7 日（火）・1 月 8 日（水）

ウ ほっかいどう大運動会 2025 2 月 11 日（火）

エ さっぽろスノースポーツパーク 2025 2 月 7 日（金）～2 月 9 日（日）

3 競技力向上・普及促進事業（398 事業 12,091 人）

(1) 加盟競技団体及びスポーツ団体などとの連携、支援に関する事業（1 事業 65 人）

ア 加盟競技団体への支援など

加盟競技団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟競技団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実などについての指導・助言を行った。

また、加盟競技団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

加盟競技団体理事長・事務担当者会議

開催日：3 月 4 日（火）

会場：北海道立総合体育センター

内 容：令和7年度各種補助金事業取扱について ほか

イ スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人 北海道スポーツ協会及び北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

(2) 競技力向上・普及促進事業 (80 事業 9,409 人)

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア 競技力向上指導者講習会 (1 事業 44 人)

開 催 日：2月6日 (木)

会 場：ホテルライフオー・札幌

内 容：『えっ！これもスポハラになるの！？効果的な指導方法を知っておこう』

講 師：吉田 聡美 氏 (コンディショニング・ラボ 代表)

参加者数：44 人

イ 競技力向上事業 (54 事業 6,969 人)

(ア) 加盟競技団体が行う選手強化育成事業への経費補助

(28 団体 48 事業、参加者 5,360 人 指導者 827 人) (うち指定管理施設外：2,930 人)

(イ) 加盟競技団体が行う指導者育成事業への経費補助

(4 団体 6 事業、参加者 550 人 指導者 232 人) (うち指定管理施設外：31 人)

ウ 普及促進事業 (25 事業 2,396 人)

(ア) 加盟競技団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

(8 団体 15 事業、参加者 853 人 指導者 211 人) (うち指定管理施設外：115 人)

(イ) 加盟競技団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助

(8 団体 10 事業、参加者 1,019 人 指導者 313 人) (うち指定管理施設外：625 人)

(3) さっぽろアスリートサポート事業 (76 団体 293 事業 1,124 人)

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア 市民スポーツ振興事業 (2 団体 2 事業 174 人)

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。

(大人の長ぐつアイスホッケー大会「長1グランプリ」)

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業 (45 団体 262 事業 603 人)

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

(ア) 国際スポーツ大会助成 (2024 年世界ベンチプレス選手権大会～岡山そら／2 位、第 7 次ジャンプ (女子) 遠征～佐藤柚月／個人 20 位、団体 8 位、ほか)

(イ) 全国規模大会助成 (JVA 第 27 回全国ヤングクラブバレーボール大会～札幌バレーボールクラブ／準優勝、2024U-15 全国選抜ジュニアテニス選手権大会～大場 莉子／シングルのベスト 16、ダブルス：2 回戦敗退)

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業 (29 団体 29 事業 347 人)

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。(美香保フィギュアスケートクラブ、札幌ジャンプスポーツ少年団ほか)

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業 (11 事業 648 人)

札幌市から次世代のオリンピック選手及びトップアスリートを輩出することを目的に、オリンピック出場や国際大会で活躍する選手を目指し、ジュニア世代選手の発掘・育成を行った。

ア 発掘事業（2事業 530人）

市内小学生を対象に、運動に対する適性テストや検証プログラムを行い、スポーツ戦略アドバイザー（阿部雅司氏）を中心とした有識者により、将来有望な子どもたちを発掘プロジェクト生として8名選出した。

(ア) 12月22日（日）スポーツ能力測定会（北ガスアリーナ札幌 46）参加者 482人

(イ) 2月11日（火）第4期発掘プロジェクト選考会（中島体育センター）参加者 48人（8人選出）

イ さっぽろジュニアスリート発掘プロジェクト（1事業 22人）

発掘プロジェクト選考会より選出した有望な子どもたちをプロジェクト生として、ジュニア期に必要なトレーニングや研修会、育成8種目の練習会などを年間170日実施した。また、小学校4～6年生は合宿において、他自治体のタレント発掘事業と合同トレーニングを実施した。

(ア) U-12 スキー 愛媛県強化合宿 参加者数：6人

(イ) 6年生 東京都強化合宿 参加者数：8人

(ウ) U-12 カーリング 青森県強化合宿 参加者数：2人

(エ) U-12 陸上 福岡県強化合宿 参加者：6人

ウ 育成事業(8事業 96人)

冬季5種目（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディックコンバインド）・夏季3種目、（陸上、バドミントン、テニス）の競技団体と連携し、長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内・国外合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

【全育成種目による合同研修会】

(ア) 6月16日（日）トレーニング実践①（北区体育館）

(イ) 8月2日（金）トップアスリート研修会（平岸庭球場）

(ウ) 11月24日（日）トレーニング実践②（北区体育館）

(エ) 11月28日（木）・29日（金）スポーツ栄養セミナー（中島体育センター／オンライン）

(5) トップアスリート活用の取組（13事業 845人）

ウインタースポーツのすそ野の拡大や競技力向上を図ることを目的に、名誉館長として月寒体育館に藤本那菜氏、どうぎんカーリングスタジアムに小笠原歩氏を配置し、イベントにおける利用者との触れ合いや教室受講生への指導を行ったほか、カーリング愛好者を対象とした交流大会を実施した。また、トップアスリートを活用した自主事業として、美香保体育館では小塚崇彦氏による初心者・経験者向けのスケート教室を実施し、星置スケート場では鈴木雄大氏による経験者向けのアイスホッケー教室を実施した。

4 スポーツ少年団の普及・育成事業（27事業 8団体 8,425人）

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った（登録数 169団 3,377人）。

(1) 派遣事業（6事業 69人）

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

ア 第62回全国スポーツ少年大会

開催日：7月27日（土）～30日（火）

会場：秋田県田沢湖スポーツセンター

参加者数：3人

イ 第50回北海道スポーツ少年大会

開催日：7月31日（水）～8月2日（金）

会場：北海道青少年会館「コンパス」

参加者数：10人

ウ 第39回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会

開催日：7月13日（土）～15日（月祝）

会場：旭川ドリームスタジアムほか

参加者数：1チーム（16人）

エ 第22回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

開催日：9月14日（土）・15日（日）

会場：深川市総合体育館ほか

参加者数：団体男子1チーム（9人）、女子1チーム（12人）

オ 第39回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

開催日：11月30日（土）～12月1日（日）

会場：砂川市総合体育館

参加者数：団体2チーム（10人）、個人男子2人、個人女子：2人

カ 第47回日本スポーツ少年団剣道交流大会

開催日：3月28日（金）～30日（日）

会場：大分県レゾナック武道スポーツセンター

参加者数：1チーム（5人）

(2) リーダー養成・育成事業（2事業 18人）

ア 札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テストの開催

開催日：11月30日（土）

会場：中島体育センター

参加者数：11人

内容：講義「スポーツ少年団の組織と運営」「リーダーの責任と役割」
実技「運動適性テスト」

講師：講義…スポーツ少年団スタートコーチインストラクター 島本 俊男 氏

実技…スポーツ少年団体力テスト認定員 三浦 淳 氏

イ 札幌市スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会

開催日：2月22日（土）・23日（日）

会場：深川市ネイパル深川

参加者数：7人

内容：創作体験（お米パンとお米シフォンケーキ作り）、班別対抗大運動会、「年齢が異なる参加者全員が楽しく実施できるレクリエーション」の計画及び実践、リーダー活動についての意見交換、先輩リーダーからの体験談発表、ニュースポーツ体験 等

その他：深川市スポーツ少年団（指導者1人 団員5人）との交歓交流事業として実施

(3) 各種目交流大会（11種目 17事業 8,319人）

軟式野球（2事業 1,900人）、サッカー（2事業 656人）、ミニバスケットボール（2事業 3,678人）、剣道（2事業 1,155人）、空手（1事業 303人）、バドミントン（2事業 290人）、少林寺拳法（1事業 67人）、冬季スポーツ（2事業 107人）、バレーボール（1事業 60人）、ソフトテニス（1事業 42人）、綱引（1事業 61人）競技の交流大会を開催した。

(4) 指導者育成事業（1事業 17人）

ア 指導者・母集団研修会の開催

開催日：2月15日（土）

会場：中島体育センター

参加者数：17人

内容：『スポハラってどんな事！？ レベルに合わせた指導方法の仕方』

講師：吉田 聡美 氏：コンディショニング・ラボ 代表

その他：令和7年度登録、スポーツ少年団指導者資格についての事務説明

(5) 表彰（1事業 2団体 2人）

札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

団体の部：2団体、育成者の部：2人

5 健康・体力づくり推進事業（健康づくりセンター 344事業 42,694人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（45事業 35,928人）

ア 健康増進・健診事業（8事業 5,224人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づく生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4事業 1,180人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない18歳から39歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4事業 4,044人）。

イ 運動指導事業（37事業 30,704人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム（17事業 29,795人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（2事業 554人）。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った（18事業 355人）。

(2) 健診・指導事業／受託事業（7事業 311人）

ア 健診事業（4事業 288人）

西健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務（3事業 23人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（292事業 6,455人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（193事業 4,534人）のほか、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（76事業 614人）を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者などを対象とした研修会などを開催した（23事業 1,307人）。

このほか、令和5年10月からの中央健康づくりセンター改修工事休館による自主事業休止に伴い、教室受講者などの運動継続を目的に、中島体育センターにて健康サポート教室を実施した（89事業 1,123人：自主事業に含めず）。

(4) 健康づくり・スポーツ施設との連携事業（5事業 202人：事業数に含めず）

体育館を利用する高齢者などをターゲットとして、健康づくりセンターの健康サポート教室（膝痛・腰痛などの運動器疾患や高齢者を対象とした運動教室）を体育館においても実施することで、新たなニーズの掘り起こしと健康度測定受診者の拡大を図った。

(5) ウェルネスの取組を通じた普及啓発事業（4事業 114人：事業数に含めず）

ア 市民に対する普及啓発の取組

協会 SNS や其他媒体及びスポーツ施設を会場とした健康情報の動画配信を行い、健康づくりイベントを実施した。（SNS等の情報発信34件、イベントほか実施5件 201人）

イ 企業に対する普及啓発の取組（健康経営サポート事業）

企業が抱える健康課題に対する健康支援として、生活習慣病予防等の健康セミナーや運動プログラムの提供を行う事業の提案を企業に向けて行った。（1事業 5件）

ウ さっぽろウェルネス★スタートプログラム事業

札幌市における「札幌市の運動習慣化に向けた取組（運動・スポーツ習慣化促進事業）」に参画し、主に「働く世代」を対象とした運動習慣化プログラムを実施した。（2事業 52人）

エ 「身体診断」セルフチェック体験・相談会

市民の健康寿命の延伸等に向けて、スポーツで得られた医・科学的知見の活用により、市民の健康増進を図ることを目的に、「北海道スポーツ医・科学コンソーシアム」との連携により実施するモデル事業を札幌市より委託を受け、西健康づくりセンターにて実施した。（1事業 62人）

6 施設の管理運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況／指定管理事業（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
北ガスアリーナ札幌46		105,167	186,816	291,983
中島体育センター		51,469	73,016	124,485
北区体育館		104,977	67,730	172,707
東区体育館		75,483	60,234	135,717
白石区体育館		90,967	91,470	182,437
厚別区体育館		67,581	80,628	148,209
豊平区体育館		38,546	33,604	72,150
清田区体育館・温水プール		123,643	89,106	212,749
	体育館	81,074	66,493	147,567
	プール	40,502	22,613	63,115
	体育館・プール共通	2,067	—	2,067
白旗山競技場		2,050	25,506	27,556
南区体育館		78,621	51,032	129,653
西区体育館・温水プール		203,502	94,233	297,735
	体育館	124,628	68,908	193,536

	プ	ー	ル	77,225	25,325	102,550
	体	育	館・プール共通	1,649	—	1,649
	宮	の	沢屋内競技場	7,371	32,689	40,060
	手	稲	区体育館	58,405	52,933	111,338
合			計	1,007,782 (前年度 939,972)	938,997 (前年度 914,232)	1,946,779 (前年度 1,854,204)

※豊平区体育館：競技室天井の改修工事のため R6.6～R7.3 競技室のみ休館

※手稲区体育館：防水、ドレン改修及び競技室、体育室壁改修工事のため R6.8～R6.12 競技室のみ休館

イ 札幌市温水プールグループ

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
東 温 水 プ ー ル	69,812	30,720	100,532
白 石 温 水 プ ー ル	34,375	36,973	71,348
厚 別 温 水 プ ー ル	63,323	34,795	98,118
豊 平 公 園 温 水 プ ー ル	32,630	28,912	61,542
平 岸 プ ー ル	87,710	49,082	136,792
手 稲 曙 温 水 プ ー ル	54,330	32,931	87,261
合 計	342,180 (前年度 307,668)	213,413 (前年度 188,025)	555,593 (前年度 495,693)

ウ 札幌市美香保体育館

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
体 育 館	4,841	40,526	45,367
ス ケ ー ト 場	26,280	9,857	36,137
公 園 野 球 場	—	44,690	44,690
合 計	31,121 (前年度 28,168)	95,073 (前年度 84,126)	126,194 (前年度 112,294)

エ 札幌市スケート施設グループ

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
月 寒 体 育 館	63,008	56,248	119,256
体 育 館	30,550	6,807	37,357
ス ケ ー ト 場	32,458	49,441	81,899
月 寒 屋 外 競 技 場	1,068	17,468	18,536
ラ グ ビ ー 場	—	11,110	11,110
庭 球 場	—	5,879	5,879
弓 道 場	1,068	479	1,547
どうぎんカーリングスタジアム	—	24,280	24,280
星 置 ス ケ ー ト 場	8,883	38,109	46,992

合	計	72,959 (前年度 62,752)	136,105 (前年度 161,667)	209,064 (前年度 224,419)
---	---	------------------------	--------------------------	--------------------------

※どうぎんカーリングスタジアム：札幌市による保全工事のため R6. 2～R6. 10 休館

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施 設 名		個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
円 山 総 合 運 動 場		22,657	224,006	246,663
	野 球 場	—	94,207	94,207
	陸 上 競 技 場	22,657	77,932	100,589
	庭 球 場	—	51,867	51,867
	ス ケ ー ト 場	—	—	0
麻 生 球 場		—	54,317	54,317
	野 球 場	—	51,960	51,960
	庭 球 場	—	2,357	2,357
厚 別 公 園 競 技 場		—	—	0
	主 競 技 場	—	—	0
	補 助 競 技 場	—	—	0
	ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	—	—	0
	共 通	—	—	0
平 岸 庭 球 場		—	17,821	17,821
合	計	22,657 (前年度 55,464)	296,144 (前年度 440,743)	318,801 (前年度 496,207)

※厚別公園競技場：札幌市による保全工事のため R6. 4～R8. 3 休館

カ 札幌市スポーツ交流施設

施 設 名		個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
	屋 内 グ ラ ウ ン ド	72,973	661,248	734,221
	屋 外 テ ニ ス コ ー ト	—	8,431	8,431
	パ ー ク ゴ ル フ 場	9,898	—	9,898
	屋 外 球 技 場	—	5,734	5,734
	イ ベ ン ト 広 場	—	2,662	2,662
合	計	82,871 (前年度 77,533)	678,075 (前年度 824,188)	760,946 (前年度 901,721)

(単位：人)

体 育 施 設 合 計	3,917,377 前年度 (4,084,538)
-------------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況／指定管理事業（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
中央健康づくりセンター	0	—	0
東健康づくりセンター	27,947	—	27,947
西健康づくりセンター	101,597	—	101,597
合 計	129,544 (前年度 200,769)	— (前年度 —)	129,544 (前年度 200,769)

※中央健康づくりセンター：札幌市による保全工事のためR5.10～R6.4 休館

【全施設合計(1)+(2)】（単位：人）

今年度利用者数	4,046,921
前年度利用者数	4,285,307
増 減	△238,386

(3) 学校施設の開放事業／受託事業（単位：人）

ア センター管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	169校	25校	17校	16校	227校
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	651,908 (前年度 582,770)	11,842 (前年度 12,423)	19,437 (前年度 18,180)	7,014 (前年度 5,162)	690,201 (前年度 618,535)

イ 自主管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	107校	1校	108校
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	644,087 (前年度 606,675)	461 (前年度 443)	644,548 (前年度 607,118)

ウ プール開放の利用状況／指定管理事業

施設区分	プー ル
開放校数	36校
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	5,232 (前年度 4,824)

【学校施設の開放合計 ア+イ+ウ】（単位：人）

今年度利用者数	1,339,981
前年度利用者数	1,230,477
増 減	109,504

7 情報提供及び調査研究

(1) 加盟競技団体情報の収集・提供

当協会ホームページにおいて各加盟競技団体の基本情報を紹介するとともに、ホームページの相互リンクを行い、利用者の利便性を向上した。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

SNS、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツに関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっばーなど）。

(3) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

(5) お客様満足度の調査及び情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況などについて集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見などを収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

8 社会貢献事業等

(1) スポーツ経営人材の育成及び活用

ア 「事業連携包括協定」の締結と協働事業

北翔大学との「事業連携包括協力協定」により、大会の運営に学生が携わった（6大会 118人）。

イ インターンシップ受入事業

インターンシップや職場体験学習を受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した。

(2) スポーツを通じた社会貢献事業

ア プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ア) パートナー契約の締結

北海道コンサドーレ札幌、エスポラーダ北海道、レバンガ北海道、北海道イエロースターズ、アルテミス北海道

(イ) 北ガスアリーナ札幌 46 にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドルズ」と「チアダンス教室」を協働開催した。

(ウ) 手稲区体育館にてコンサドーレサッカースクールを協働開催した。

(エ) エスポラーダ北海道と北ガスアリーナ札幌 46 にて女子フットサルスクール、南区体育館にてフットサルスクールを協働開催した。

(オ) 北ガスアリーナ札幌 46、清田区体育館・温水プール、西区体育館・温水プール、手稲区体育館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催した。

(カ) 北海道日本ハムファイターズと手稲区体育館にてファイターズベースボールアカデミー、北ガスアリーナ札幌 46 にてファイターズフィジカルアカデミーを協働開催した。

イ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

ウ 役員就任など

「札幌市中学校体育連盟選手権大会、新人戦大会顧問」など、役員への就任による運営協力、「北海道卓球選手権大会兼全日本予選会」「札幌年齢別水泳競技大会」などのスポーツ大会の後援（97事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

(3) 地域貢献事業

ア 地域の環境保全及び防犯活動

植栽などの実施、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。また、地域における防犯・安全活動への協力として、29施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども110番の店として防犯活動を推進した。

イ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

ウ 募金活動及び献血への協力

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力した（募金額：155,649円）。また、「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

エ 地域コミュニティ活性化事業（20事業 9,724人）（再掲） 区役所、商店街組合、町内会などと連携して、地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした水上安全無料講習会などの啓発事業を実施した。

(4) サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

9 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	4,046,921
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,339,981
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	47,358
合 計	5,434,260 (前年度 5,576,058)
増 減	△141,798

(2) 収支

収 入 4,512,828,469 円

経 費 4,520,287,501 円

10 処務の概況

(1) 令和6年度末役員・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会 長	生島 典明	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
理 事 長	鈴木 和弥	R6. 4. 1	R6. 4. 1	常 勤
常務理事	柴田 幸雄	R2. 6. 26	R5. 6. 28	常 勤
常務理事	長澤 茂嗣	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理 事	川島 行雄	H27. 6. 26	R5. 6. 28	常 勤
理 事	沖 洋安	R 元. 6. 26	R5. 6. 28	非常勤
理 事	沖田 孝一	R 元. 6. 26	R5. 6. 28	非常勤
理 事	野坂 政司	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理 事	佐藤 勝美	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理 事	山崎 文子	R3. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
理 事	北島(川端) 絵美	R3. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
監 事	酒井 隆	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
監 事	梅津 太	R7. 3. 26	R7. 3. 26	非常勤
評 議 員	川初 清典	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	晴山 紫恵子	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	柳原 正明	H28. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	堀田 真理	H29. 6. 29	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	平澤 光志	R2. 4. 1	R6. 6. 27	非常勤
評 議 員	紺谷 好範	R2. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	阿部 雅司	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	金谷 泰亨	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
評 議 員	西村 達也	R6. 6. 27	R6. 6. 27	非常勤

(2) 令和6年度末職員数（単位：人）

職種／性別	男 性	女 性	合 計
総 合 職 員	90	41	131
職務限定職員	33	33	66
再雇用職員等	15	0	15
契 約 職 員	33	21	54
臨 時 職 員	0	0	0
パートタイム職員	221	359	580
合 計	392	454	846

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回 令和6年4月1日（月）	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 常勤役員報酬規程の改正について (3) 第3号議案 理事の職務及び権限に関する規程の改正について
第2回 令和6年6月12日（水）	(1) 第1号議案 令和5年度事業報告について (2) 第2号議案 令和5年度決算及び監査報告について (3) 第3号議案 令和5年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第4号議案 令和6年度定時評議員会の開催について (5) 報告第1号 東温水プールにおける火災及び現金紛失事故について
第3回 令和6年6月27日（木）	(1) 第1号議案 令和6年度収支予算の変更について (2) 第2号議案 スポーツ振興事業助成金実施調査における指摘事項の改善方策の提出について (3) 第3号議案 諸規程の改正について
第4回 令和6年10月29日（火）	(1) 第1号議案 職務限定職員就業規程等の改正について (2) 第2号議案 再雇用職員就業規程の改正について (3) 第3号議案 福利厚生事業規則の改正について (4) 第4号議案 研究倫理審査委員会設置規程の新設について (5) 第5号議案 参与の選任について (6) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)
第5回（書面開催） 令和7年2月27日（木）	(1) 第1号議案 評議員会の開催について
第6回 令和7年3月26日（水）	(1) 第1号議案 令和7年度事業計画について (2) 第2号議案 令和7年度収支予算について (3) 第3号議案 理事の職務及び権限に関する規程の改正について (4) 第4号議案 会社役員賠償責任保険の加入と内容について (5) 第5号議案 育児介護休業法改正に関連する規程の改正について (6) 第6号議案 職員給与規程等の改正について (7) 第7号議案 諸規程の改正について (8) 第8号議案 加盟団体代表者委員会設置規程の新設について (9) 第9号議案 重要な使用人の選任について (10) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和6年6月27日（木）	（１）報告第1号 令和5年度事業報告について （２）報告第2号 令和5年度公益目的支出計画実施報告について （３）報告第3号 東温水プールにおける火災及び現金紛失事故について （４）第1号議案 令和5年度決算及び監査報告について （５）第2号議案 評議員の選任について
第2回評議員会 令和7年3月26日（水）	（１）第1号議案 役員の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期	令和6年 3月期	令和7年 3月期
経 常 収 益	4,281,698	3,601,812	3,744,595	4,256,330	4,406,900	4,512,828
経 常 費 用	4,316,136	3,742,355	3,949,300	4,287,347	4,421,479	4,520,287
当期経常増減額	△34,438	△140,543	△204,705	△31,017	△14,579	△7,459
経 常 外 収 益	93,483	165,566	254,205	-	-	1,543
経 常 外 費 用	-	-	-	-	-	-
法 人 税 等	29,012	520	41,169	520	520	520
当期一般正味財産増減額	30,033	△24,504	8,331	△31,537	△15,099	△6,436
期首一般正味財産額	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645	1,478,546
期末一般正味財産額	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645	1,478,546	1,472,110
当期指定正味財産増減額	-	52,000	△13,000	△13,000	△13,000	△12,490
期首指定正味財産額	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000	33,000
期末指定正味財産額	20,000	72,000	59,000	46,000	33,000	20,510
期 末 正 味 財 産 額	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546	1,492,620
資 産 合 計	2,969,520	2,872,565	3,008,356	2,836,602	2,776,329	2,792,363
負 債 合 計	1,457,173	1,283,714	1,424,174	1,296,957	1,264,783	1,299,743
正 味 財 産	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546	1,492,620

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。